

競 技 注 意 事 項

1.規 則

(1)本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2.練習について

(1)競技場内での練習時間は、次のとおりとする。

9月19日(土)は7時20分から9時10分まで、9月20日(日)は7時20分から9時20分までとする。

トラックのレーン使用は次のとおりとする。 **(1・2レーンでの jog は禁止とする。)**

・1～2レーン:タイムトライアル ・3～6レーン:短距離 ・7～8レーン:ハードル

(2)トラック内でのジョグ、牽引ロープ、ミニハードル、マーカー、コーン等の器具を利用した練習は禁止とする。

3.招集について

(1)招集所は、100mスタートゲート付近に設ける。

(2)ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器等を競技場内に持ち込むことができない。(TR6.3)

(3)招集開始時刻・完了時刻は、競技日程及び招集時刻のとおりにする。

(4)招集時には、自分のレーン・試技順に自分で○をつけ、係員にアスリートビブス、腰ナンバー標識の点検を受けること。

(5)招集完了時刻に遅れた競技者、レーン・試技順に○がついていない競技者は、欠場とみなし出場を認めない。

(6)2種目を同時に兼ねる競技者は、多種目同時出場届を第1種目の招集時に招集所へ本人が提出し、競技の進行に支障のないようにすること。

(7)リレーオーダー用紙は、第1組の競技開始時刻1時間30分前から1時間前までに、オーダー用紙を招集所に提出すること。

また、決勝においても、予選に準じて競技開始時刻1時間30分前から1時間前までに提出すること。

(8)欠場する場合は招集開始時刻までに招集所に欠場届を提出すること。

リレーオーダー用紙、欠場届、多種目同時出場届は、各校でご準備ください。

4. アスリートビブス(登録番号)・腰ナンバー標識について

(1)アスリートビブスは胸と背に一枚ずつ確実につけること。ただし跳躍競技に出場する競技者は胸または背に一枚つけるだけでもよい。

(2)トラック競技で使用する腰ナンバー標識は各校で用意すること。

(3)次の種目は、各校で準備した腰ナンバー標識を胸と右腰につけること。招集の際には、本人のアスリートビブスを必ず持参すること。男子5000m、女子3000m、男女5000mW

(4)4×400mRの腰ナンバー標識については、2・3・4走は右腰につけること。

5. トラック競技について

(1)400mまでの種目及びリレー競技は次のラウンドへの進出者決定の際、同成績者については、同成績者または代理人によって抽選をおこなう。なお、800mにおいて同成績者が出た場合は、8レーンに2名の選手を入れて9名でレースをおこなう。

(2)1500mは、決勝進出者決定の際、同成績者は規定人数に追加して決勝に進出させる。

(3)男子5000m、女子3000m、男女5000mWはグループスタートとする。ただし、男女5000mWについては、男子がインスタート、女子がアウトスタートとする。

(4)5000mは20分、男子3000mSC、女子3000mは13分、男女5000mWは38分で打ち切りとする。

6. 跳躍競技について

(1)走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

走高跳 (男子) 練習(1m55) 1m60, 65, 70, 75, 80, 85, 88 以後3cmずつ

(女子) 練習(1m25) 1m30, 35, 40, 45, 48 以後3cmずつ

棒高跳 (男子) 練習(2m00) 2m20, 40, 60, 80, 3m00 以後10cmずつ

(女子) 練習(1m60) 1m80, 2m00, 20 以後10cmずつ

※同成績の場合における順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cm ずつとする。

(2)走幅跳のピットは、第1組をAピット(スタンド側)、第2組をBピット(トラック側)とする。

なお、トップ8の試技においてはピットの移動は行わない。

(3)三段跳の踏み切り板については、男子11m、女子9mに設置する。

7. 投てき競技について

(1)記録測定を行う距離は原則として下表による。

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男 子	8m00	20m00	10m00	30m00
女 子	6m00	15m00	10m00	20m00

8. フィールド競技マーカーについて

(1)フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

9. 競技用具について

(1)スパイクシューズのピンは、全天候舗装用で11本以内とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm以下とする。

- ・WRk 申請競技会につき、WA 競技用靴規定を適用する。

- ・靴底の最大の厚さは、競歩・サークル系種目を除き 20 mm以内、競歩種目は 40 mm以内でなければならない(TR5.2)。なお、サークルから行う投擲種目(砲丸投、円盤投、ハンマー投)の、靴に関する規定は対象外とする。

(参考) WA が承認した競技用靴リストの URL

[Full list | LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES \(worldathletics.org\)](http://worldathletics.org/Full-list-List-of-Approved-Athletic-Shoes)

- ・審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。

- ・競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

- ・大会記録以上の記録が出た場合は、競技終了後に検査を行うことがある。

(2)競技用具は、競技場そなえつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールは個人所有のものを使用することができる。また、投てき用具については、検査のうえ個人のものも使用を認める。投てき用具の検査は第1ゲート外側で競技開始 120 分から 60 分前までに行う。

10. スタートについて

(1)スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。 (「オン・ユア・マークス」、「セット」)

(2)一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格とさせられる。(TR16.8)

11. イエローカード(以下YC)について

(1)WA競技規則CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。

(2)同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

12. 選手への助言について

(1)競技中、選手に対する助言ができる場所は、コーチングエリア内のみとする。助言できる者は、顧問および部員、顧問が認めた外部指導者とする。外部指導者は、顧問から配布された ID カードを必ず着用すること。

13. その他

(1)競技場所への移動は、他の競技の妨げとならないよう、十分注意すること。また、カラーコーンを設置してある場所はそれに従うこと。特にメインスタンド前の通行は慎むこと。

(2)メインスタンドでの集団応援は禁止する。その他の場所でも競技の進行の妨げとなるような応援は禁止する。また、スタンド最前列に立っての応援は観覧者の迷惑となるので禁止する。

(3)競技者は審判役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。

(4)リレーのマーク(テープ等)は各校で準備すること。また、使用したマークは各校で責任をもって除去すること。なお、マークは幅 5cm、長さ40cm を超えないものとする。

(5)主競技場、その他の練習場でのウォームアップは、競技役員の指示に従うこと。

(6)競技者・補助員以外の者はトラック・フィールドに入らないこと。

(7)貴重品は各自、各学校で責任をもって保管し、盗難・紛失等に十分注意をすること。

(8)各自出したゴミは持ち帰りとする。